



平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月8日

上場会社名 株式会社ボルテージ
コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 津谷 祐司

問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 古市 守

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成30年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	5,570	18.8	1,009		1,042		1,225	
29年6月期第3四半期	6,857	20.0	66	85.0	74	82.7	13	

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 1,233百万円 (%) 29年6月期第3四半期 11百万円 (93.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	239.95	
29年6月期第3四半期	2.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	3,259	2,451	75.2
29年6月期	4,429	3,736	84.4

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 2,451百万円 29年6月期 3,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00			
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年6月期の配当予想は未定としております。

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	17.2	1,100		1,150		1,400		

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(平成30年5月8日)公表いたしました「繰延税金資産の取り崩し及び平成30年6月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	5,198,074 株	29年6月期	5,197,774 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	91,581 株	29年6月期	91,528 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	5,106,393 株	29年6月期3Q	5,105,044 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復し、企業収益は改善しました。個人消費は、消費者マインドが持ち直しており、実質総雇用者所得も緩やかに増加するなど、持ち直しております。

このような環境の中、国内のスマートフォンゲームの市場規模は平成28年が前年比4.4%増の9,690億円となっております(注1)ですが、成長速度は緩やかになっております。

当社グループにおきましては、当期より、「日本語女性向け」「英語女性向け」「その他」の3区分で事業を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における売上は、「英語女性向け」「その他」が増加したものの「日本語女性向け」が大幅に減少し、5,570,553千円(前年同期比18.8%減)となりました。費用は、テレビCMの出稿やモバイル広告の出稿量増加により広告宣伝費が大幅に増加したものの、売上減少に伴う販売手数料の減少や制作及びシステム外注費の減少等があり、若干減少しました。その結果、営業損失は1,009,320千円(前年同期は営業利益66,545千円)、経常損失は1,042,645千円(同 経常利益74,081千円)となりました。

また、当期第2四半期決算において、将来減算一時差異及び税務上の繰越欠損金に係る繰延税金資産を計上しておりましたが、当第3四半期決算において、今後の業績見通し等を踏まえた繰延税金資産の回収可能性の検討を行い、繰延税金資産を全額取り崩すこととしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において法人税等調整額を含む法人税等146,636千円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,225,283千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失13,038千円)となりました。

事業区分別の業績は、以下の通りであります。なお、当期第1四半期連結会計期間より、事業区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えて比較しております。

①日本語女性向け

日本語女性向けは、「恋愛ドラマアプリ」「シークドラマ(注2)」「チームドラマ(注3)」「モーション(注4)」及び「パズルアクションゲーム(注5)」が該当します。

主に「恋愛ドラマアプリ」の減少が続き、売上高は3,864,840千円(前年同期比31.4%減)となりました。

②英語女性向け

英語女性向けは、「L10N(注6)」「DRAGON(注7)」及び「US REAL(注8)」が該当します。

主に「DRAGON」が大幅に増加したことにより、売上高は1,398,441千円(前年同期比36.6%増)となりました。

③その他

その他は、「男性向けサスペンス」のほか、VR・AR技術を用いたコンテンツや、アニメ・IP展開(グッズ・イベント等)が該当します。

主に「男性向けサスペンス」が増加したことにより、売上高は307,271千円(前年同期比52.9%増)となりました。

(注) 1. 出所：カドカワ株式会社「ファミ通ゲーム白書2017」2017年6月8日発表

2. シークドラマ：「ダウト～嘘つきオトコは誰？～」の仕様をベースに制作されるコンテンツ。従来の恋愛ドラマアプリとは一線を画し、ストーリーだけでなく調査や審判等の要素を持つ

3. チームドラマ：ユーザーが主人公となりキャラクターとの恋愛を楽しむ恋愛ドラマアプリと異なり、キャラクター同士で展開するストーリーを楽しむコンテンツ

4. モーション：株式会社ボルモで制作するモーションタイプのコンテンツ。なお、当該子会社は平成30年5月8日現在、解散し清算手続き中であり、株式会社ボルテージがコンテンツ運営を行っている

5. パズルアクションゲーム：株式会社ボルスタで運営するコンテンツ。なお、当該子会社は解散し4月26日付で清算終了しており、株式会社ボルテージがコンテンツ運営を行っている

6. L10N：海外市場向けアニメ絵であり、日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記

7. DRAGON：海外市場向けアニメ絵であり、SFスタジオ(米国サンフランシスコにある連結子会社)にて海外市場向けに作ったコンテンツ。北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来。対ユーザー呼称AmeMix(アメミックス)

8. US REAL：海外市場向けリアル絵のコンテンツ

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、3,259,859千円（前連結会計年度末比1,169,808千円減）となりました。

流動資産は、2,364,321千円（同1,041,735千円減）となりました。その主な要因は、収益の減少及び外国債券の購入等による現金及び預金の減少945,728千円によるものであります。

固定資産は、895,537千円（同128,072千円減）となりました。その主な要因は、ソフトウェア資産の償却等による無形固定資産の減少75,993千円によるものであります。

(負債の部)

負債は、807,898千円（同114,818千円増）となりました。

流動負債は、807,339千円（同114,259千円増）となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加111,505千円によるものであります。

固定負債は、558千円（同558千円増）となりました。その要因は、繰延税金負債の計上558千円によるものであります。

(純資産の部)

純資産は、2,451,961千円（同1,284,626千円減）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少1,276,346千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは平成30年6月期第4四半期以降、改革のテーマを以下の2点として、引き続き「3年戦略（平成29年6月期から平成31年6月期）」に基づき事業を運営してまいります。

A) 組織のスリム化

人員数の見直しをはじめ、固定費スリム化により黒字化を図ってまいります。

B) 成長の次ステップ

日本語女性向けコンテンツを「読み物型」「アバター型」「カード型」で整理し、それぞれ独自ノウハウの構築を行ってまいります。

平成30年6月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、平成30年1月25日付の「平成30年6月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました予想を修正しております。詳細につきましては、別途公表いたしました「繰延税金資産の取り崩し及び平成30年6月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,132,425	1,186,696
売掛金	1,130,273	1,021,176
前払費用	99,886	76,294
繰延税金資産	24,704	-
未収消費税等	17,560	78,125
その他	1,848	2,398
貸倒引当金	△642	△369
流動資産合計	3,406,057	2,364,321
固定資産		
有形固定資産	146,239	99,681
無形固定資産		
ソフトウェア	367,776	279,153
コンテンツ	-	12,630
無形固定資産合計	367,776	291,783
投資その他の資産	509,595	504,073
固定資産合計	1,023,610	895,537
資産合計	4,429,667	3,259,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,997	108,677
未払金	270	943
未払費用	499,877	552,802
未払法人税等	40,899	3,551
賞与引当金	-	111,505
その他	28,035	29,859
流動負債合計	693,080	807,339
固定負債		
繰延税金負債	-	558
固定負債合計	-	558
負債合計	693,080	807,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	936,499	936,549
資本剰余金	902,099	902,149
利益剰余金	1,977,347	701,001
自己株式	△100,139	△100,222
株主資本合計	3,715,807	2,439,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,611	1,265
為替換算調整勘定	19,168	11,216
その他の包括利益累計額合計	20,780	12,482
純資産合計	3,736,587	2,451,961
負債純資産合計	4,429,667	3,259,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	6,857,063	5,570,553
売上原価	3,042,013	2,633,482
売上総利益	3,815,049	2,937,071
販売費及び一般管理費	3,748,504	3,946,392
営業利益又は営業損失(△)	66,545	△1,009,320
営業外収益		
受取利息	700	1,724
受取配当金	83	54
為替差益	1,900	-
雑収入	4,861	2,524
営業外収益合計	7,545	4,304
営業外費用		
為替差損	-	37,491
雑損失	9	137
営業外費用合計	9	37,628
経常利益又は経常損失(△)	74,081	△1,042,645
特別損失		
固定資産売却損	3,890	8,232
固定資産除却損	1,505	0
減損損失	-	27,769
特別損失合計	5,395	36,001
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,685	△1,078,647
法人税、住民税及び事業税	115,970	2,708
法人税等調整額	△21,949	143,927
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△12,297	-
法人税等合計	81,724	146,636
四半期純損失(△)	△13,038	△1,225,283
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,038	△1,225,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純損失(△)	△13,038	△1,225,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,719	△345
為替換算調整勘定	21,612	△7,952
その他の包括利益合計	24,332	△8,297
四半期包括利益	11,293	△1,233,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,293	△1,233,581

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。